

2006年2月7日

「サービス介助士」資格取得者が500名を超えました

JR東日本では、お客さまに安心してご利用いただける鉄道を目指して、エレベーター・エスカレーターの整備など、ハード面でのバリアフリーの推進に取り組んでいますが、ソフト面でもバリアフリー推進の一環として「サービス介助士」資格の取得を進めています。

この取り組みは、今年度から進めており、2006年1月末現在で同資格の取得者が500名を超えました。引き続き資格取得の取り組みを進め、お客さまの視点に立ったよりきめ細やかなサービスの提供に努めてまいります。

1 「サービス介助士」資格について

目的：ご高齢のお客さまやお身体の不自由なお客さまが駅を利用する際に必要な介助技術とともにお迎えする側としてのホスピタリティーマインドを習得することを目的としています。

認定機関：NPO（特定非営利活動）法人 日本ケアフィットサービス協会

2 資格取得の取り組みについて

対象者：当社管内の主な駅・びゅうプラザを中心としてお客さまと対応する業務に従事する社員

取得計画：2005年度 640名

（2006年1月31日現在、532名が取得しています）

2006年度 680名

2008年度までに2400名の取得を目指し、主な駅を中心に配置してまいります。

3 サービス介助士章

資格を取得した社員は、「サービス介助士」と明記した名札を着用します。



（例）